



神戸常盤大学

キャンパスレポート

2017.6
No.55

建学の精神

広く学術の基礎となる知識及び技能を授けるとともに、深く専門の学問及び技術を研究・教授して、知的、道徳的に優れた技術者を育成し、また成果を社会に還元することにより、国家及び地域社会の発展に寄与すること。

www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/

学長室だより

新年度に思うこと ～神戸常盤のカラー～

学長 濱田 道夫



この『キャンパスレポート』が皆さんの手元に届く頃には、新学期も進み、いよいよ佳境に入っているのではないのでしょうか。新生生の皆さんは4月からの大学生活にすっかり慣れて、授業や課外活動などをつうじて友達の輪も広がっていることでしょう。上回生の皆さんも新学期に入り、将来のこと、資格試験のこと、現在の授業のことなど真剣に考えているのでしょう。人間の成長にはさまざまな節目があって、そのつど新たな気持ちで再出発を確認するのです。

じつは私もこの4月からの新任の学長です。新生生にはすでに入学式での学長式辞をつうじて知られていますが、その他の学生諸君にはあまり知られていないと思います。自己紹介(本号に「新任の紹介」欄がありますのでご覧ください)の代わりに、着任以来の本学への思いを気の向くまま述べておきます。

本学のイメージカラーは緑です。メタセコイヤの木がロゴマークになっています。以前、私は米国ワシントン州のエバーグリーン大学を訪問したことがあります。シアトルから車で約一時間、深い森を切り開いたところに突然大学が現れます。周りには何の種類かわかりませんが大きな杉の木が延々と茂っていました。アメリカらしい荒々しい常緑(エバーグリーン)の大自然を目の当たりにした思いです。

神戸常盤大学では、日時計のある開放的な大地の広場、風の広場、そして新二号館へと抜ける空間が緑葉に包まれてこんもりとした自然を醸しだしています。現代にありがちな乾いた無機質な空間ではなく、遠くに海も臨める生命みなぎる緑の環境は、学びの場、とりわけ「いのち」を支えるための学びの場として大切にしたいものです。

大学の個性や特色を示すという意味でのスクールカラーも大切です。本学は大きすぎることもなく小さすぎることもなく、独自のカラーを出すのにちょうどいい位の規模だと考えています。教職員、学生が一丸となれる規模ということです。実際、これまでに地域交流や国際交流をとおして、神戸常盤のカラーが生みだされてきました。たとえば、子育て支援センター「えん」や秋の「TOKIWA健康ふれあいフェスタ」、二十年以上も続くネパール医科大学との学生交流はユニークで、こうした取り組みを続けるなかで、「いのち」への豊かな感受性を大学全体として身につけることができたのだと思います。

しかしスクールカラーは、放っておけば色あせます。努力してつねに鮮やかな彩りを保たなければなりません。メタセコイヤの木のようにしっかりと大地に根を張り、つねに緑葉をたくわえながら成長していきたいものです。学生、教職員、そして同窓会の皆さん、ともに頑張りましょう。

“基盤教育”の新たな船出

今年度から新たに“基盤教育”がスタートしました。いわゆる「一般教養」と呼ばれるものです。通常、どの大学でも用意されています。しかしこの教育(基盤教育)がもつ意味は、本学にとっては実に大きいものがあります。もちろんこれまで教養科目は開講されてきました。しかしながら基盤教育は従来のそれとは大きく違います。どこがどう違うのでしょうか？

一つは、基本的にすべての科目が学科を越えて受講することができるという体制がとられていることです。この4月に入学した新入生の皆さんにとっては、もはや当たり前のように感じているかもしれません。隣の席に他の学科の学生さんが座っている。そんなこと当たり前じゃないか、と。しかしこれまでの教養科目ではそれは当たり前ではなかったのです。

神戸常盤大学は、専門職業人を育成する大学です。それぞれの専門分野において十分な知識と技能を身につけてもらい、立派に社会に出ていくことが期待されます。ですがそのことは決して一般教養を疎かにしてよいということを意味しません。むしろ専門性を越えたところにある一般教養やジェネリックスキルといったものこそ重視しなければならないと私たちは考えています。学生の皆さんは何歳まで働くつもりでしょうか？5年ですか？10年？20年？死ぬまで？いずれにしても、近年の目まぐるしく変化する社会の中においては、数年前に修得した専門の知識・技能がそのまま通用するような時代ではありません。学び続けることが必要なのです。それはどの職にあってもそうです。大学の先生も、そうです。だからこそ、基盤教育では、学科の枠を超えて、広い視野で科目が設計されているのです。

そして第二に、基盤教育が「学びの始め科目群」「人間探究科目群」「創造実践科目群」の3つに構造的に分類されているという



4学科合同授業「まなぶる▶ときわびと」

ことです。これまでの教養科目ではそうした構造的にはありませんでした。学びの始め科目群は、いわゆる初年次教育を行う科目です。つい3月まで高校生だった新入生の皆さんが、頭も心も大学生に切り替わってもらうために、「大学で学ぶこととはどういうことか」ということを一から学習してもらうことをここで行います。人間探究科目群は、いわゆる一般教養科目です。専門性の枠を超えて、幅広く物事に興味・関心を持って学んでもらえるよう、数多くの教養科目を用意しています。最後に創造実践科目群は、近年特に社会的に求められている「学生の主体性」を伸ばすためのアクティブラーニングの学習機会を積極的に取り入れた実践型の科目が用意されています。

神戸常盤大学はこれからも変化し続けます。学生の皆さんの将来に対して責任を負う以上、変化し続ける社会に対して、私たち自身変わり続けなければなりません。基盤教育は、その大きな変化の一つだと考えています。



目次

学長室だより	1
“基盤教育”の新たな船出	2
新入生を迎えて	3
1年担任紹介	4
上田國寛先生～感謝の集い～	
新任の紹介	5
第13回小柴昌俊科学教育賞受賞	
一年を振り返って	6
実習体験記	7
学生自治会長あいさつ	
ネパール研修	8
ニュージーランド研修	
研究ノート	9
2017年度 学外オリエンテーション	
玉田学園創立110周年への一歩	
ときわ幼稚園通信	10
同窓会だより	
歯科診療所のご案内	
オープンキャンパスのお知らせ	

新入生を迎えて



副学長兼保健科学部長
鎌田 美智子

キャンパスのそこ此処に若い声々がごだまして、心弾む始まりの季節が巡ってきました。新入生の皆さんご入学おめでとうございます。いよいよ大学生活のスタートですね。“くれなゐの二尺伸びたる薔薇の芽の針やはらかに春雨のふる(子規)”……薔薇の棘のやわらかな時代を、幅広く柔軟にしかし深く、豊かに学び過ごされることを願っています。

さて本学4年制大学は、今年10年目をむかえ、皆さんは10期生という区切りの入学年度となります。学科を横断した新たな教養科目が開講され、“ときわコンピテンシー”を目指した基盤教育始動の年でもあります。多彩で豊富な科目群を通して、皆さんは生きて在る世界への理解を深め、自らを律し主体的に行動する力を養いつつ、学ぶ喜び、知る楽しさ等を実感することになります。

また本学は2学部3学科と、短期大学(口腔保健・看護学科通信制課程)ともに専門職の育成を目指しています。周知の通り、我が国は超高齢化と少子化社会となり、専門職には最先端治療や健康長寿の実現、健やかな発達への支援等、多様な社会のニーズに的確に対応できる力が求められています。このためには、それぞれが独立した機能と役割を果たし、かつ協働し、その総和以上の力を発揮することが必要となります。

本学で豊かな基盤教育と専門教育を学び、各学科共にその“学びの絆”を深め、知性と感性、そして連携力を備えた専門職を目指してください。



教育学部長
こども教育学科長
大森 雅人

こども教育学科に入学された92名の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんをお迎えできたことを、嬉しく思います。いよいよ学生生活が、始まります。4年間、主体的にしっかりと学んで下さい。

今後、社会は想像以上の早さで変化すると思います。昨年度末、中央教育審議会に出された文部科学大臣からの諮問には、次のことが書かれていました。「我が国社会のあらゆる側面において、かつて経験したことの無いスピードで大きな変化が進行しています。例えば、IoT、ビッグデータ、人工知能等を活用する「第4次産業革命」は、既存の産業構造、就業構造、さらには人々の生活を一変させる可能性があることが指摘されています。」

そのような時代を生きる皆さんは、「一生涯、主体的に学ぶことができる力」を身につけることが求められています。皆さんの頑張りを、心から期待いたします。もちろん、学科教員一同、全力でそれをサポートします。



保健科学部
医療検査学科長
坂本 秀生

新入学生の皆さん、ようこそ神戸常盤大学へ。

これから始まる大学生活に向け、皆さんは期待と不安が混ざった様々な思いを持たれていると思います。自分には難しいかな、時間的に可能だろうか等、様々な事が頭をよぎるでしょう。そんな時、どうか「限界を自分で決めない」で下さい。

皆さんには無限とも言える可能性があり、実現に向け行動を続けることで、困難に思えたことも実現できることが多いのが人生です。なぜなら、実現に向けてひたむきに取り組んでいると、新たな思考や知識や技術等の実力がつくだけでなく、あなたの知らぬ間に周囲があなたをサポートしてくれます。

神戸常盤大学には、皆さんの希望や夢を実現する環境が整っているので、なりたい自分を目指して過ごしましょう。まだ目標が定まらないなら、大学生活を過ごす課程で見つければよいです。

さあ、神戸常盤大学でなりたい自分への扉を開けましょう。



保健科学部
看護学科長
長尾 厚子

満開の桜の4月に、看護学科では85名の新入生の皆様をお迎えし新しい息吹を感じております。

看護学科では「いのちを支える確かな知識と技術、豊かな心をもつヒューマンケアのプロ」を目指し、カリキュラムを構築し展開しています。「確かな知識と技術」はこれからの4年間で看護専門職として必要な教育内容です。

さらに、今年度は本学の教育改革に根差した基盤教育分野が展開されます。幅広い教養分野の科目では「豊かな心」を育み、「ひと」として成長していくための糧となる学修内容が含まれています。

また、多くのひととの出会いのなかで、常に明るく、前向きに生きようとする心を養い、社会に貢献しようとする実践的な力も培っていただきたいと願っています。

現在、少子高齢化社会を迎えた日本では、住み慣れた地域の中で生活しながら適切な医療を受ける地域包括ケアシステムが構築されつつあります。その中で、国民の生命と健康を支える看護専門職への期待は益々大きくなってきています。課程内外での学びも含めて、4年間は短いものですが、大人として大きく成長される期間でもあります。有意義な日々となるよう教員一同支援いたします。



短期大学部
口腔保健学科長
吉田 幸恵

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんはもちろんのこと、皆さんを支えておられるご家族の皆様におかれましてもお喜びのことと存じます。

本学は、建学以来「実学重視」を学是とし、口腔保健学科では口腔保健の専門家の養成を目的としています。皆さんは、口腔保健を通じて、人々の健康に寄与するという高い志を持って入学されたことでしょうか。その志に心より敬意を表します。

皆さんの歯科衛生士を目指す夢を実現して頂けるように、本学科の教員は全力で皆さんをサポートしていくつもりです。皆さんは安心して、持てるエネルギーの全てと時間を日々の勉学に注いで下さい。

実学は、科学(サイエンス)に基づいた技術(アート)が要求されますので、始まった1年生の基礎科目から着実に積み重ねていくことが大切です。科目を一つ一つ丁寧に積み上げることで、確かな技術を獲得することが出来るはずですよ。

幸いにも本学科には多くの歯科衛生士教員がいます。皆さんの良き指導者となり、一人一人の相談相手となって支えていきます。さあ、夢の実現に向かって共に歩みましょう。



短期大学部
看護学科通信制課程長
高宮 洋子

大学構内は今、鮮やかな新緑が生命力を誇るように輝いています。新入生のみなさん、入学おめでとうございます。今年も入学式後の学習説明会では、教室いっぱい皆さんの学修への強い意欲と意志があふれていました。各看護学の概論スクーリングも始まり、各教員の看護観に圧倒されたり、共に学び合う仲間との交流も始まって少しは緊張も和らいでいることでしょう。本学で学ぶということは、文字通り主体的に学ぶ環境を創ることです。家庭と仕事の両立は大変、学習はもっと大変です。しかし「働きつつ学ぶ」ことこそ皆さんの強みです。学習と実践が結びつき、根拠が分り先が読め、看護が分る楽しさ充実感が自分のものになります。教員は皆さんのレポートを通して一人一人に向き合い、思いを込めてコメントをし、皆さんの学習を支援していきます。卒業生が「常盤で学んだことが自分の誇りです」と確信に満ちて語っています。皆さんも困難をエネルギーに変え、たじろぐことなく目標達成まで前進しましょう。教職員は何時でも皆さんと共にいます。

1年担任紹介

医療検査学科



Aクラス担任
栗岡 誠司
有機化学
無機化学
分析化学実習



Bクラス担任
新谷 路子
解剖組織学
病理学
基礎検査学

看護学科



Aクラス担任
山口 有美
基本看護技術I、II、IV
医療経済学



Bクラス担任
中村 由果理
基本看護技術I、II、III



こども教育学科

保育者養成コース
笹井 隆邦
理科
人物と環境
基礎研究演習I

こども教育学科



保育者養成コース
柳原 利佳子
発達心理学I
保育の心理学
カウンセリングの技法
基礎研究演習I



教員養成コース
山下 敦子
国語
アカデミックライティング
小学校教育実習演習
基礎研究演習I



口腔保健学科

Aクラス担任
柳田 学
臨床歯科I
病原微生物学
免疫学

口腔保健学科



Aクラス担任
破魔 幸枝
歯科予防処置演習BI
歯科診療補助演習I



Bクラス担任
福田 昌代
歯科予防処置論A
歯科予防処置論B



Bクラス担任
東 麻夢可
歯科保健指導演習I
歯科診療補助演習II

上田國寛先生～感謝の集い～

副学長兼保健科学部長 **鎌田 美智子**

去る4月22日に、本学前学長の上田國寛先生の「感謝の集い」が開催されました。

当日は、学長をはじめ教職員を中心に多くの方々のお出陣の下、上田先生のご功績を讃え、感謝の念をお伝えする心温まる会となりました。先生は奥様と共に、にこやかなお姿でご臨席くださいました。

ご存じの通り、上田先生は京都大学化学研究所・同大学院医学研究科教授を経て、平成19年に本学学長として赴任されました。

翌々年の保健科学部の開設、及び短期大学部口腔保健学科、さらには教育学部の開設(平成24年)と、本学の大学教育の礎を築いてくださいました。保健科学部申請当時を振り返ってみますと、設置審の、短期大学から大学へ昇格するポイントは何かという間に、「教育はもとより、研究の風



旭理事長より絵画の贈呈

土を創り上げ、その応用(社会への還元)!!と、明快に伝えられたお姿が鮮やかに蘇ってきます。その理念の下に、私たちは多くの導きを得て、今日に至りました。

今後は先生の教えを胸に、さらなる発展を目指さねばならないと、教職員一同決意を新たにす会でもありました。今後は名誉教授として、本学の教育研究に変わらぬご指導ご鞭撻をお願いしつつ、先生のご健勝と益々のご発展をお祈りしたいと存じます。



上田國寛先生ご夫妻を囲んで

新任の紹介

①住所 ②所属 ③専門分野 ④趣味・特技 ⑤好きな言葉



濱田 道夫(学長)

- ①神戸市
- ③西洋経済史(とくに近代フランス)
- ④水泳
- ⑤自適、チャレンジ



安藤 啓司

- ①神戸市
- ②医療検査学科
- ③生理学・生理機能検査学
- ⑤人間万事塞翁が馬



畠 榮

- ①神戸市
- ②医療検査学科
- ③病理・細胞診断学
- ④家庭菜園
- ⑤誠実



林 伸英

- ①神戸市
- ②医療検査学科
- ③臨床化学
- ④溪流釣り
- ⑤初志貫徹



成山 文夫

- ①赤穂市
- ②看護学科
- ③教育哲学
- ④畑仕事、読書
- ⑤汝自身を知れーソクラテスー



山口 有美

- ①神戸市
- ②看護学科
- ③基礎看護学
- ④映画鑑賞、お菓子作り
- ⑤暗いと不平を言う前に進んで明かりをつけましょう



尾崎 優子

- ①神戸市
- ②看護学科
- ③小児看護学
- ④登山
- ⑤Let your soul be your pilot.



中村 由果理

- ①神戸市
- ②看護学科
- ③基礎看護学
- ④読書
- ⑤Without haste, but without rest



吉田 幸恵(学科長)

- ①大阪市
- ②口腔保健学科
- ③口腔保健学
- ④ハイキング、旅行
- ⑤ベストを尽くす



柳田 学

- ①茨木市
- ②口腔保健学科
- ③歯周病学・歯内治療学・免疫学
- ④だらだら喰い、いつでもどこでも眠れること
- ⑤おかげさまで



樽口 直矢

- ①明石市
- ②事務局
- ④旅行
- ⑤勇気は一秒、後悔は一生



森岡 猛

- ①加古郡
- ②事務局
- ④家族旅行
- ⑤努力



栗岡誠司教授が第13回「小柴昌俊科学教育賞」の奨励賞を受賞しました。

この度の受賞、おめでとうございます。
「小柴昌俊科学教育賞」とはどのような賞なのでしょうか？

小柴昌俊先生は、2002年ノーベル物理学賞を受賞され、それを機に基礎科学振興のために平成基礎科学財団を設立されました。この財団により、幼児から高校生を対象とした科学教育に著しい成果を挙げている個人・団体を顕彰することによって、科学教育の発展を促すことを目的に創設されたものです。

先生が受賞されたご研究について教えてください。

この20年間ほどの活動と教育研究に対しての授与で、受賞タイトルは、「サイエンスショーによる化学概論白熱教室の展開」です。主たる内容は、小中学生・高校生に対しての「学校の理科授業を補完し学習動機付けに資する化学サイエンスショーの設計と実践」です。双方向対話型、体験型のサイエンスショーを化学分野だけで行っています。

先生の今後の活動/研究の計画や抱負を教えてください。

工夫しながら「継続」していくことです。審査員の方が実際に活動を参観され「化学概論白熱教室」と名付けて下さいました。“白熱教室”の名のもと、実験を通しての対話から子どもたちの興味関心を引き出し、科学する心を育みたいと思います。



写真提供：公益財団法人平成基礎科学財団

一年を振り返って



医療検査学科 2年
中口 恵未里

この1年間は私にとって、大きな変化の1年でした。高校時代は自分と似た環境で育った友人と過ごす事が多かったので、考え方も少し偏ってしまっていたと思います。大学生になって、自分とは違う環境で育った友人達、尊敬する先生と出会ったことにより、考え方や物事の受け取り方が昔よりも広がったような気がします。実は、私は受験期の最後の最後まで進路を決めきれず、臨床検査技師の姉に背中を押され、この道を目指すことにしました。将来に対して迷いや不安もありましたが、神戸常盤大学に入学して本当に良かったと思っています。神戸常盤大学の先生方は、親身になって学生の相談に乗ってくださるのでとても心強いです。授業を受けていくうち自分の目指したい臨床検査技師像が明確になり、これから医療従事者になる者としての責任を感じるようになりました。臨床検査技師としての知識や技術を身に付けるだけでなく、社会人として認められるように、常識や礼儀も、残りの大学生活の中で身に付けていきたいと思っています。



看護学科 2年
大藤 圭織

1年前は新しい生活が始まることに不安でいっぱいでした。でも、いざ学生生活が始まってみるととても充実したものでした。勉強は、授業中だけでなくグループ課題をしたり、後期は演習も始まり自分たちで練習したりと、自ら時間を見つけてしなければならぬことも多くなってきます。この生活に忙しさを感じることもあります。しかし同じ目標に向かって頑張る友達がたくさんいます。放課後や空き時間に楽しく、時には励ましあって勉強に取り組むことができたので私にとってはその時間がとても充実したものでした。また友達だけではなく、先生方も演習などで丁寧に指導して下さり、質問にも丁寧に答えてくださいました。部活では、先輩方と関わることができ、学祭やその他のイベントなどでも活動ができてよい経験ができた1年でした。2年生では1年生から学んできたことをもとに、さらに深い学びをしていけるように頑張ろうと思います。



こども教育学科 2年
中村 駿介

絶対教員になる。そんな気持ちで本学に入学し、様々なことに挑戦しました。入学後すぐに発生した熊本地震の復興支援のため募金活動に参加しました。長田区は阪神淡路大震災で被害を受けたこともあってか、道行く人々から沢山の支援の気持ちが集まりました。こんな人情にあふれている長田区のことをもっと知りたいと感じ、新長田サポータークラブに入りました。そこでは、長田の街を盛り上げようと、区の祭りへの参加や、清掃などを行っています。活動のたびに区民の方の笑顔で温かい気持ちになることができました。この他にも、消防団に所属し避難訓練や防災活動を行ったり、1・17追悼式典、小豆島への合宿ボランティア、神戸開港記念式典に参加したりするなど、神戸常盤ボランティアセンターの方と協力し沢山の経験を積みました。さらに、勉強の支えになったのが教職支援センターの学習会です。本学は、教職員と学生との距離が非常に近く、学習会以外でも質問や相談に真摯に答えてくださり、日々充実しています。これからの学生生活が楽しみでなりません。



口腔保健学科 2年
栗林 伶奈

入学してからの1年間はこんなに早く感じたことがないくらい一瞬でした。1年前期の授業は基礎的な科目が多く、目をこすりながらも必死に勉強しました。後期からの学内実習では、ユニフォームを着ることで気持ちも引き締め、歯科衛生士の夢に一步近づけたように感じたことを覚えています。上手にできないこともありましたが、その都度先生方の指導を受け、予習や復習も欠かさず行い、乗り越えることができました。また、私はボランティアにも参加しました。様々な年齢の子どもを対象に行うブラッシング指導など、大学の中では体験できなかったこともありましたが、地域の方々に関わり、日々学内実習で積み重ねてきたことを発揮できることはとても嬉しく、実習に対するモチベーションにも繋がりました。2年生では、より専門的な授業が多くなり、後期からは臨地実習も始まります。辛い時やくじけそうになったときは、一緒に頑張っている仲間と支え合い、充実した学生生活にしたいと思います。



看護学科通信制課程 2年
佐藤 みづほ

昨年4月、固い決意を持ち入学しました。しかし、現実には想像以上で見通しのつかない不安を抱えていました。制限された時間に焦る中、レポートの完成度の低さ、知識の無さを何度も痛感する日々でした。しかし、課題に取り組んできたこの1年は、今までとは全く違う意識を持つようになりました。それは、知識を深めることを追及すればする程、患者様に対する気づきが広がり、看護の幅が大きく拡大することを実感したのです。そして、1年間取り組んできたことは、これからの看護人生において、大きな糧となることを確信しています。そんな中で迎えた基礎看護学実習。高い意識を持った仲間存在に大きな刺激を受けたと同時に、同じ方向へと向かう事への力をもらいました。あと1年。ここからが本番です。各論実習においても、生命力、人間性を感じる事への喜びを持ちながら、患者様と関わっていきたくと思っています。そして1年後卒業し、念願であった国試合格という夢に向け、更なる努力を続けていきたいと思っています。

実習体験記

臨地実習を終えて



医療検査学科 4年
中杉 愛美

病院で実習をさせていただき、実際に技師がどのように患者さんと関わっているのか、また正確さという観点から学ぶことができ良い経験になりました。実習前までは患者さんとコミュニケーションが取れるか、実習についていけるか不安がありましたが、現場の技師の先生方が丁寧に指導して下さいだったので、とても楽しい実習になりました。私は生理機能検査に興味があり、技術、知識共に実習を通じて理解が深まりました。毎日空き時間にエコーなど練習させていただき自信ができました。また、検体検査では測定機器の操作方法やデータの見方、管理方法など想像以上に学ぶ事が多く毎日が充実していました。検体が多く、午前中は目まぐるしく回る忙しさについていくので精一杯でしたが、臨床検査技師の方に優しくお声掛けいただき、理解しつつ実習が出来たことに感謝しています。臨地実習を通して学んだことを生かし、これからの国家試験に向け勉学に励みたいです。

臨地実習を終えて



看護学科 4年
森本 悠花

私はこの半年間、多くの領域別実習を行いました。実習が始まる前は不安もありましたが、患者さんと実際に関われるということで胸を膨らませていました。実習では、短期間で患者さんと関係を築き、情報収集からアセスメントを行い、患者さんと一緒に「患者さんがなりたい姿」を目指します。どの実習もそれぞれの魅力を感じ、終わる度に看護が楽しくなっていたのが正直な気持ちです。患者さんは闘病しながらも「ひとりの人間」として生活をしています。そのため私は、患者さんと関わることで苦痛や不安などの思いや生活背景を知り、患者さんの立場や思いに立つことが大切だということを学びました。看護をするだけでなく、患者さんからパワーを貰うこともありました。この臨地実習を終えて私は看護師として先を見据えた看護が行えるように根拠と自信を持ち、また「人」に寄り添う看護ができるようこれからも努力したいと思います。

保育所実習を終えて



こども教育学科 3年
山下 菜月

保育所では0歳児から5歳児まで幅広い年齢の子どもたちを見ることができました。私は全クラスに順に入らせて頂いたので、年齢と共に違う発達段階の過程を見ながら、子どもたちとの関わりを考えました。子どもたちは様々な事情や思いをもっているため、一人一人にあった関わり方、個々への対応が大切だと学ぶことができました。また、手遊びをしたり、絵本を読んだりといった、授業で勉強したことが、実習でとても役に立ち、改めて日々の授業の大切さを感じました。実習中に参加した遠足では、梅の花や動物を見に行くことができ、子どもたちの発見や驚きを一緒に感じることや、季節を味わうこともできました。園外での先生の安全の確保の仕方や、声のかけ方や動きなどを実際に見させていただき、授業だけでは学べないことも実習中には多く学ぶことができました。普段の大学での勉強と実習での勉強、どちらもしっかり行うことで、専門的な知識や技術が身につく、先生になるための自信を少しずつ付けていくことができるのだと実感しました。

小学校実習を終えて



こども教育学科 4年
西口 悠斗

実習を終えて感じる意義とは、大きく2点あります。1点目は小学校の現状を目の当たりにできるということ、2点目は教師としての適性を見極める機会が与えられるということです。現状を見られるということは、例えば実際の子どもが日々の生活でどのような姿を見せるのか。子ども一人一人に対応した現役教師の生徒指導や教科指導のあり方等、教師や子どもの息づかいまでもが感じられるほど身近に見ながら学び取ることです。2点目については自分の生徒指導の力や教科指導の技術がどこまで通用するのかを体験しながら学ぶことができます。子どもの反応を受けて指導の方向性を見極め、より楽しい授業づくりのための準備物や発問の工夫など、自己研鑽できる良い機会です。また現場の先生方から授業に関する貴重なご意見を頂けることも大きな糧となりました。教育実習から半年、自分も含め同期のみんなは教員採用試験に向けて猛勉強しています。「現場教師としてこどもの前に立つ夢を現実にするため。」その思いは皆同じです。

学生自治会長あいさつ



こども教育学科 3年
岡本 誠

本年度の自治会長を仰せつかりました。昨年度、多くの活動を行っておられた森本さんの後任ということで、荷が重いようにも感じております。僕の考える会長とは、学校で何の活動をするにも、その最前線に立ち、何事にも真っ先に関われる大変名誉ある立場です。僕は、学年学科問わず、多くの学生が有意義に交流できる学校にしたいと思っています。他の自治会員の方や、先生方、地域のみなさまのお力をお借りしながら、1年間の任期を精一杯、頑張ります。よろしくお祈りします。

ネパール研修

ネパール報告書

こども教育学科 2年 岩川 礼実



ネパール研修で私は、幼稚園で日本の歌や折り紙を子ども達に教えました。言葉が通じない子ども達と、身振り手振りで意思疎通をはかる体験は日本ではできない掛け替えのないもので、楽しい思い出になりました。一方でショックを受けたこともありました。物乞いをしている子どもを見たことです。私は本を読んで、ストリート

チルドレンが世界にいることを知っていました。そして、そのような境遇の子ども達を救いたいと考えていました。しかし、実際にお金を求めて私に近づいてきた子どもを見たとき、私は何もできませんでした。救いたいと思っていた子どもが目の前にいたのに、怖いとすら感じてしまい戸惑ってしまいました。この経験から、私は本などの表面的な知識ではなく、私自身が見て感じたありのままの生きた本当の知識を身につける必要性を強く感じました。ネパール派遣研修制度は、私に知る機会と多くの知識を与え、夢を叶えるための確実な一歩になりました。沢山の方々のおかげで自己の成長にも繋がる貴重な経験ができたことを心より感謝しています。



幼稚園のクリスマス会



ヒマラヤ山脈を背にして

ニュージーランド研修

ニュージーランドでの海外研修を終えて

こども教育学科 講師 脇本 聡美



日本より少し小さい国土面積に対し人口わずか450万人のニュージーランドは、今回訪れたクライストチャーチのような主要都市でも広々と、そしてゆったり暮らせる素晴らしい街です。参加した学生たちは、ホームステイや、保育所・小学校での見学実習を通じて、日本との生活習慣や教育制度・実践の違いを自分たちの目で見て、肌で触れて多くのことを学び、そしてニュージーランドの素晴らしい自然も満喫しました。

保育所では、大きな部屋に異年齢の子どもたちが集い、自分のしたい活動を自分で選んでする様子を見学しました。小学校

では、2学年が一緒に学ぶとても広くて様々な形状の学習スペースが設置されている一つの大きな部屋にて学習をすすめていました。一斉授業ではなく、グループで学ぶ児童もあれば、一人で学習する児童もいます。個々の児童の成長を重視し、それぞれにあった学習を提供する教育実践に学生たちは驚き、また同時に、それを可能にする教員の力量の大きさに感心したようでした。見学後、学生たちは中学年と高学年の2つの教室に分かれて、子どもたちに折り紙を英語で教えました。言葉だけでなく、準備した教材を使い、身振りや実演を交えて何とか伝えようとする学生たち、それを理解して折り紙を完成させようとする子どもたち。双方が協力し合うことで作り上げられた素晴らしい学習活動となりました。

クライストチャーチでの様々な体験から、日本で当たり前だと思っていたことでもそれは当たり前のことではなく、日本独特の文化や習慣であることに気づくこともできました。さらに、ニュージーランドの海、山、星空といった雄大で美しい自然の中で行う楽しい活動もありました。今回の研修で経験したこと、感じたことを、これからの学生生活やキャリアの中で活かしていってほしいと願っています。



①Seedlings Early Learning Centre (Christchurch)で研修。
日本の手遊びを披露しました。



②Marshlands Primary School (Christchurch)で研修。かぶとと鶴の折り方を教えました。



③ホーストレッキングと星空ツアー@テカポ



研究ノート

薬物性歯肉増殖症

口腔保健学科 教授 柳田 学



薬物性歯肉増殖症をご存知ですか。薬物性歯肉増殖症は特定の薬剤を長期常用している患者さんに見られ、歯肉の著しい増殖を特徴とします。歯肉増殖が生じると歯磨きが困難となりプラーク（歯周病原細菌の集まり）が沈着し、さらに歯肉増殖が進行して口腔機能や審美性が著しく損なわれます。降圧薬の中で最も使用頻度が高いカルシウム（Ca）拮抗薬、抗てんかん薬フェニトイン、免疫抑制剤サイクロスポリン等が歯肉増殖を誘導する薬剤として挙げられます。近年、疾患発症メカニズムの解明が進み様々な作用機序を有する新薬の誕生に伴い、上記薬剤以外にも歯肉肥大を誘導する薬剤が存在することが報告され、新たな歯周病リスク因子として注目されています。

私は閉経後女性の乳癌患者に用いられる乳癌治療薬が、薬物性歯肉増殖症を引き起こす可能性を見出しました。Ca拮抗薬等が歯肉増殖を誘導する機構としてはコラーゲンの代謝異常の関与が報告されており、乳癌治療薬も同様の作用を有し、細菌刺激によりさらに歯肉を増殖させることがわかりました。

全身性基礎疾患を持つ患者はその薬剤服用を中断できません。しかし日頃から口腔内をきれいにすることで、薬剤性歯肉増殖を防ぐことは可能です。今後は薬物性歯肉増殖症に関する知見を薬剤服用患者や医療関係者に注意喚起することで、これからの超高齢者社会における口腔機能や審美性の維持、向上に反映させていくことが必要であると考えています。



降圧剤服用による歯肉腫脹

研究に取り組む中で感じている2つのこと

看護学科通信制課程 講師 武 ユカリ



私の現在の研究テーマは訪問看護師の困難事例や利用者・家族からうける暴力です。その中で感じている2つのことについてお話します。まず医療安全と職場安全についてです。患者への安全な医療提供は医療安全として、医療関連のすべての専門職の基盤になっています。専門職としてその責務を果たすため、医療安全には高い意識と取り組む姿勢が必要であることは当然のことです。しかし一方で、スタッフの職場安全についてはあまり認識されておらず、関心が高いとも言い難い現状があります。スタッフの職場環境の安全性の確保は、医療安全と同様に、専門職の基盤とするべき必須事項だと言えます。

次に研究の還元についてです。訪問看護師の職場は、事業所、地域、利用者の自宅で、病院とは全く異なった環境があります。訪問看護師を対象にした調査からは特有の困難感があり、環境や状況に応じた対策が必要になってきました。訪問看護師は臨床看護師の3%に満たない割合ですが、在宅療養者と家族の自宅での生活を支える重要な社会的役割を担った専門職です。訪問看護師が安全に快適に活動できる体制づくりは、他の職種にとっても必要なことだと思います。研究を紙面上で完結させるのではなく、臨床現場や社会の多くの人にとって有用なものにできるよう取り組んでいきたいと考えています。



前学生部長
看護学科 教授 岩越 美恵



2017年度 学外オリエンテーション

昨年度から会場となっている県立淡路夢舞台国際会議場と隣接するウェスティンホテル淡路で、4月6-7日に行われました。目的は、新入生が同期生や教職員、先輩たちとの親睦・交流を通して、本学大学生としての自覚と誇りを持ち学生生活のよりよいスタートを図るもので、参加者は全新生341名と、教職員85名、自治会やボランティアの先輩45名（うちOG3名）。計9台の大型バスで朝9時



常盤シンポジウム

に大学を出発。現地到着後学科ごとの記念撮影を行い、開会式に続いて先輩たちによる常盤シンポジウム。スライドを使って各学科の学年ごとのカリキュラムの概要や、大学内

外の生活情報、ボランティアや海外研修などの紹介がされました。午後からは各学科に分かれて交流が行われました。医療検査学科は、グループに分かれてコミュニケーションゲームや決められた材料を用いた造形物の高さを競うゲームを。看護学科は先輩のリードで教員と新入生の混合グループ毎に競うゲームの数々。こども教育学科は入学前の課題図書に関するグループワークの後は、体を使ったエネルギーと笑顔あふれるゲームに。口腔保健学科は3名のOGのお話を聴く講義形式のものでした。再び全体で集まり食事や交流のマナーを学んだ後、地の材料をふんだんに使った料理を学部ごとの立食パーティーで楽しみました。翌日はお天気が曇りで留まり、4学科混成の5,6人のチームで、メンバーの共通点をテーマにして広い庭園を舞台に自分たちの写真を撮り、開会式の前に全員で鑑賞。すばらしい作品ばかりでした。誰一人体調を崩すことなく、良き始まりを期待して終了しました。

玉田学園創立110周年への一步

平成30年、玉田学園創立110周年を迎えます。記念事業の一環として、本学が、県立文化体育館のネーミングライツを取得し、本年4月から、愛称が「神戸常盤アリーナ」となりました。5月には屋内外の看板付け替えも終了し、近隣地域はもちろん、広く利用される方々の認知度も日増しに高まってきています。





ときわ幼稚園通信



平成29年4月12日、入園式を行い新年度がスタートしました。

新入園児の中には、緊張や不安から泣いてしまう子どももいましたが、教師や友達とままごとをしたり、園庭で遊んだりする内に、少しずつ幼稚園が楽しいと思えるようになってきました。

進級した年中・年長児は一つ大きいクラスになったことが嬉しくて仕方がない様子で、新しい遊びやいろいろな活動に意欲的に参加しています。

ある日、年中・年長児がだんご虫を見つけて、「先生、だんご虫こんなにたくさん見つけたよ」と教師に見せにきました。するとそれを見ていた年少児が「ぼくもだんご虫探す!」「わたしも一緒に探す!」と言い始めました。まだどこを探せばだんご虫を見つけられるのか分からない年少児に、年中・年長児は「ここにいるよ」「つかまえてあげようか?」と優しく教えていました。お兄さん、お姉さんになったことで「小さい友達の世話がしたいけれど、どうしよう」と感じていた年中・年長児でしたが、一緒に遊ぶ中で、少しずつつかかわりが増えてようになってきました。異年齢の友達とのかかわりを楽しみながら遊びの幅を広げたり、友達を思いやる気持ちをもったりすることができるように、これからも支えていきたいと思えます。

ときわ幼稚園 教諭
花崎 菜



自分の「素質」

衛生技術科 12期生 新木 正彦

我々世代は「若い時の苦勞は買ってでもしなさい」とよく言われたものですが、私の場合、いかなる特典がついていても苦勞など求めるわけでもなく、学生時代はアルバイトに明け暮れ、おかげでプロ並みの包丁さばきを身につけてしまったわけでありませぬ。

このような毎日を送っておりますと、当然のことながら学業の方は落ちこぼれてしまったのですが、驚くことなかれ国試に合格し臨床検査技師として世の中に出てみたものの、元来の性格により当然ここでも落ちこぼれていったわけでありませぬ。

このような私が「人間形成」を真髄とする「居合道」と

出会い、包丁を日本刀に持ち替え修行を重ね、五段までいただくことができました。

世の中、努力は報われるとは限りませぬ。しかし、「素質」がないからと言って諦めないでください。何でもいい、好きなことなら「これ以上絶対無理」なところまで一度頑張ってみて下さい。そうしてたどり着いたところが持っていた「素質」です。自分の「素質」を見つけて下さい。時間はたっぷり用意されています。



神戸常盤大学短期大学部歯科診療所のご案内 ☆あなたのお口の健康をまもりまします☆

〈診療時間〉

火曜日～金曜日10:00～12:00/13:00～16:00

〈診療内容〉

歯磨き指導、歯のお手入れ、義歯のお手入れ、フッ化物塗布、むし歯や歯周病の検査、お口の機能向上、お口の健康相談

“あなたに合ったお口の健康を保つ方法をお伝えします!”

小さなお子さまから、どなたでもお越しください”

〈費用〉

基本料金500円

〈神戸市在住の方〉

- ◆神戸市妊婦歯科健康診査
- ◆神戸市40歳総合健診歯周病検診
- ◆神戸市50歳歯周病検診
- ◆後期高齢者(75歳以上) 歯科健康診査

を行っております。これらの健診は無料です。

〈予約方法〉

078-611-1821 (神戸常盤大学 庶務課)
078-611-1831 (神戸常盤大学短期大学部歯科診療所)
予約の上、お越しください。



オープンキャンパスのお知らせ

〈日 時〉 6/17(土)、7/9(日)、8/5(土)、9/2(土)
13:00～16:30

〈内 容〉 学部・学科紹介、キャンパスツアー、体験学習、模擬授業、個別相談等

〈参加方法〉 申し込みは不要です。(受付12:30～)

〈場 所〉 本学キャンパス(無料送迎バスも運行します)
詳しくはHPで!

★看護学科通信制課程 総合説明会を同時に開催しています。

★見学・入試に関する事など、なんでも遠慮なく入試広報課にお問い合わせください。

〈問合せ先〉 入試広報課(078-611-1833)
nyushi@kobe-tokiwa.ac.jp



財務情報につきましては、本学園のホームページをご覧ください。

発行・編集 神戸常盤大学 広報委員会 〒653-0838 神戸市長田区大谷町2-6-2 ☎(078)611-1821(代)